911.3
ス

911.3
ス

崇儀序

[illegible]

こしきひらきみちのく行脚の後紙おもとうハねさむれ文
字ぬさ一巻の品勘みとらけさしくも題号をなき故なる
ハ漢の原成ゆへゝ文の書をつらハやる作の巻くの
多くひて　ハあふねと倒乃字をまる書せるを　なりの弟子に
よりおのづから古文なかりしび一日芭蕉旅行の首途曾良
か書ける紙携へて再三乃翻を乞う代ゝ伝りに芭蕉
すなはち其文の奥の細道のおきりを大様のせおよう
くみする後の世のよする事ましてらうつくなものと
おもふハ訓ミにはよしも埋きちくるを不ぞ関をくしてうと思ひ
うちかや世業をえたる嫁にも成りさけ付記を写して
序書てよくし高捨てゝも其今時ゆめを書きうつ人毎せ
ものなる題号をたつのつらねけるさハに其をつくる地

ひぶしかりとくちをつくむ
元禄七乃年夏 閏さつき初三日 素龍書

むかし聞その月日の空の山路　芭蕉
雲らに 時雨乃 降る所　北枝
家霞隠を 春の日まで空を　仝
上乃とよりに染る 菜の花　芭蕉
青柳内をかくもり月乃雲　仝
萩越ためとて 秋のきむしま　北枝
ゥ 薄霞へ 菜の花 かくき　仝
焙炉収ちり 人下も へ せ 哉　芭蕉

奈良かよひおなしつらなる細基手 野坡
ことしは雨のふらぬ六月 芭蕉
預けたるみそとりにやる向河岸 野坡
ひたといひ出すお袋の事 芭蕉
終宵尼の持病をおさへける 野坡
こんにやくばかりのこる名月 芭蕉
はつ雁に乗懸下地敷て見る 野坡
露を相手に居合ひとぬき 芭蕉
町衆のつらりと酔て花の陰 野坡
門で押るゝ壬生の念仏 芭蕉
東風々に糞のいきれを吹まはし 仝
たゝ居るまゝに肱わつらふ 野坡

江戸の左右むかひの亭主登られて 芭蕉
こちにもいれどから臼をかす 野坡
方々に十夜の内のかねの音 芭蕉
桐の木高く月さゆる也 野坡
門しめてだまつてねたる面白さ 芭蕉
ひらふた金で表かへする 野坡
なに事も女房のちゑを捨置て 芭蕉
又このはるも済ぬ牢人 野坡
法印の湯治を送る花ざかり 芭蕉
なは手を下りて青麦の出来 野坡
ウ
どの家も東の方に窓をあけ 野坡
魚に喰あくはまの雑水 芭蕉

千鳥啼一夜〳〵に寒うなり　野坡
未進の高のはてぬ算用　芭蕉
隣へもしらせず嫁をつれて来て　野坡
屏風の陰に見ゆる菓子盆　芭蕉

三吟

兼好も莚織けり花ざかり　嵐雪
ひきさくや苣に雀鮨もる　利牛
片道ハ春乃小坂のかたまりて　野坡
外をさまくに圍ふ相撲場　嵐雪
細〳〵と朔日おかむ有明月　利牛
早稲も晩稲も相生に出る　野坡

ウ
泥染を長き流にのはすらん　嵐雪
あちこちすれハ昼のかねうつ　利牛
隣から節々と嫁を譏にくる　野坡
ちり〳〵しくも挙るうへつり　嵐雪
黒谷乃くちハ岡崎聖護院　利牛
五百のかけを二度に取けり　野坡
綱ぬきのぬかれぬ蛛ゆるの人　嵐雪
人のさかしね雲雀なり　利牛
雛段の鞍をおろせハ見かれて　野坡
坂の中なる芋をほる月　嵐雪
衛と両袴やして秋乃風　利牛
宿なし見てハ又劉ろく　野坡

[illegible]の[illegible]文類[illegible]
抱腹　小便をする
[illegible]の[illegible]
[illegible]　箸のせんこく
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

嵐雪
利牛
秋坡
嵐雪
利牛
秋坡
嵐雪
利牛
秋坡
嵐雪
利牛
秋坡
嵐雪
利牛
秋坡

[illegible]
[illegible]
錦[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

嵐雪
利牛
秋坡
嵐雪
利牛
秋坡

婦人川入[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

孤屋
芭蕉
[illegible]
利牛

寝処に誰もねぬ夜の千巻読　　芭蕉
どたりと塀のころぶ秋風　　孤屋
ウ　きりぎりす薪の下より鳴出して　　利牛
晩の仕事の工夫するなり　　岱水
妹をよい所から片付て　　孤屋
僧都のもとへまづ文をやる　　芭蕉
風細う夜明がらすの啼わたり　　利牛
家のながれたあとを見て行　　岱水
鯲汁わかい者よりよくなりて　　芭蕉
茶の買置をさげて売出す　　孤屋
此春も盧同が男居なりにて　　利牛
かゝし柳今はおしみて　　岱水

雪の跡吹はがしたる朧月　　孤屋
ふとん丸げてものおもひ居る　　芭蕉
ナ　不届な隣と中のわるうなる　　岱水
はつち坊主を上へあがらす　　利牛
泣事のひそかに出来し浅ぢふに　　芭蕉
置わすれたるかねを尋ぬる　　孤屋
着のまゝにすくんでねれば汗をかき　　利牛
客を送りて提る燭台　　岱水
今のまに雪の厚さを指てみる　　孤屋
年貢すんだとほめられにけり　　芭蕉
息災に祖父のしらがのめでたさよ　　岱水
堪忍ならぬ七夕の照り　　利牛

名月のまに合せ度芋畑　芭蕉
すさ／＼いふて荷ふ落鮎　孤屋
このころハ宗匠達の手もすき　利牛
山の根際鉦きこゆなり　岱水
よこ雲にそよ／＼風の吹出して　孤屋
晒の上に雲雀囀る　利牛
花見にと女子ばかりがつれ立て　芭蕉
余乃くさなしに菫たんぽゝ　岱水

百韻

子ハ裸父ハてゝれで早苗舟　利牛
岸のいばらの真白にさく　野坡

雨あがり珠数懸鳩の鳴出して　孤屋
よ力町よりむかふ西かぜ　利牛
竿竹に茶色乃紬たぐりよせ　野坡
馬の離れてわめく人声　孤屋
暮乃月干葉乃茹汁わるくさし　利牛
掃ば跡から檪ちる也　野坡
ぢゝめきの中によりだす初鰹　孤屋
傍ふなをしといふ仁平次　利牛
松坂や矢川へきぬる通り　野坡
吹て脹も伴ふ関所故　孤屋
十二三弁の家蔵乃寺をうつし　利牛
本堂そくれまへハとつく　野坡

田乃あかる方ハあやしむ竹の生　孤屋
此寺森ゝに口きゝくれ　利牛
近江路乃うらの詞を聞初て　野坡
天気の相よ三ケ月乃照　孤屋
生なから直に打込ひしほ漬　利牛
椋乃実落る屋根くさるなり　野坡
帯黄乃房乃蓮花くさる　孤屋
此形 住ちろの人のそハ深く　利牛
わすくと二日灸乃のせい也　野坡
ほろくとおくの鐘り高うく　孤屋
なれ梅を門でつき留ば　利牛
雅明乃糸もよはつるゝ縁　野坡

淀ゝ西寺武士乃兵のつとめ　孤屋
尚き代ふより今ハ大黒　利牛
切境の喰例しらつ社ゝそと　野坡
くそつ納豆を仕込広庭　孤屋
瘧日をまきらかす世しも侍るふ　利牛
最てもみつる下猪乃うきうき　野坡
此是あひ乃八分をいやうけは嫁守　孤屋
寒すりの煮乃遠き井のもと　利牛
宿乃月植よ價ある古柱　野坡
すれ寺乃もゆゑかまるこつてれ　孤屋
寺門振らつ寒ゝ盃もさらう勝去ち　利牛
戸てかゝくへし乃風呂の屋根　野坡

代遠江殿と檜はすれかひて
赤心小宮八わかとしき内
宮まて八宿は男のかをかを
師光は五尾の御乃ものを
雕橋白の金年〜賞ゐをて
丁滿の狀を又賞けり
慶神をうへかひをる祇の前
ゆく起すて奈る觀音
燃をる彩を晃果拔くて
十四人丈のあるまりをる
月夜はかきこのけ城の跡をり
弦歩用 海雲 〜稱

孤否 利牛 聖城 孤否 利牛 聖城 孤否 利牛 聖城 孤否 利牛 聖城 孤否

三ヲ

機縁程かけてを度之祇乃ア
小屋はあるは空 静なり
屋敷なり 雕るを多出て
繕り獲けを会入て見る
支烟り暫祇て侍る清水坊
賣くをかあるを 政の華
物毎もの侍ホ者をを〜ホ
又四月は 古美 いく く
波 まるを人かを三号院
ケをく けんかく 寂〜りをい
蔵をりををホ初を蔵ホ
一つををホ 鎖り 雪 稿

聖城 利牛 孤否 聖城 利牛 孤否 聖城 利牛 孤否

気かゝる朧月夜の鶉かな　野坡
こもり果る八幡乃まつり　利牛
丁寧に仕込む俵のはかり　孤屋
絶々に海て公[illegible]　野坡
夕月に[illegible]の[illegible]　利牛
色て[illegible]鮭のやき物　孤屋
冬空を[illegible]風よ[illegible]　野坡
月夜や結のもなしぬ[illegible]　利牛
暑き[illegible]月を[illegible]　孤屋
幾月かりて[illegible]　野坡
蔵も[illegible]　利牛
門建[illegible]断の桐[illegible]　孤屋

彼岸の一季乃花の咲まで　野坡
三人なかまのおもしろさ　執筆

春之部

立春　発句

蓬莱に聞ばや伊勢の初便　芭蕉
東雲やますゝ[illegible]松　濁子
みちのくの[illegible]　杉風
春や祝ふ丹波の鹿も帰とて　京 去来
刀さし供[illegible]　膳所 正秀
いそうき[illegible]　大坂 洒堂
[illegible]　岱山

猫にさへ門徒寺のおつとめ　沾圃
因果ものも中乃淵寿氏附宜　孤屋
初日影ゑみ無着をつまれけるや　利牛
牛乗る観世名を弾る暮露　野坡

梅

梅一木つれなく草乃葎哉　素龍
むめ咲や臼の挽木のよきまがり　曲翠
むめが香や節分まよふ初卯哉　支考
窓の梅ちらを見ておちて
はらちるや糸をひく光の見え負　土芳
梅咲て湯殿の眠れをさまし　利牛
寐茶その昼明くうれしき花　游刀
みな〳〵に咲をまつはねと梅の花　此筋
紅梅は娘すまする妻戸かな　杉八
おさなきもの七くさやたを打て
まな板も取て白かる籾かな　甚吉
七くさや籾ひろひかけて切きざむ　孤舟
うちむれて若菜摘ゆく野道哉　仙化
余所の文のさゝにしぬ
朧月一足づゝもわかれかな　借　去来
大はらや蝶の出て舞ふ朧月　丈草
おぼろ月まだ宵なからかくれ家や　仙化
深川の会にて
きゝさゝれ雲乃残てあるこゝろ一　利牛

十八日夜や時月の古き賣　　直之
横ゝ恋初めしより時てなく　　耶蘇
誰ゆのこみ出くんつかれつゝ城　　其角

雪

うくひすの鳥ゝ鳥ゝ鳥ゝる彩花　　嵐雪
雪の業ゝ人ゝ人ゝ雪の　定　　其角
うくひすの梅の起行　雪の　　桃隣
雪や　門ゝ門ゝ　豆腐賣　　耶蘇
家ゝ家ゝひまの一夜も会ふ人ゝ　　利牛

樹

ちるを見へ〳〵花一樹　　湖春
陸ゝ水ゝ一月のなひく　　素牧

人人ゝ人ゝ人ゝ人ゝ人ゝ人ゝ人ゝ人ゝ　　耶蘇
はきれぬ尾ゝ月ゝ月ゝ月ゝ　　一風
町ゝ町ゝ町ゝ町ゝ宿ゝ　　利牛
傘ゝ柳ゝ月ゝ月ゝ　　芭蕉

時

土ゝ土ゝ土ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ　　孤屋
枝ゝ枝ゝ枝ゝ　　湖雲
会ゝ人ゝ会ゝ会ゝ会ゝ会ゝ　　曲水
張ゝ張ゝ張ゝ張ゝ張ゝ張ゝ　　嵐雪
鳥ゝ鳥ゝ鳥ゝ鳥ゝ鳥ゝ鳥ゝ　　支考
ゝ梅ゝ梅ゝ梅ゝ梅ゝ梅ゝ梅ゝ　　耶蘇

花

うへのゝ花見にまかり侍りしに人々幕打さはぎ物の音小うたの声さまざまなりける傍の松かげをたのみて

四つ五器のそろはぬ花見心哉　芭蕉

[illegible]　杉風

[illegible]　丈草

[illegible]　素龍

[illegible]　[illegible]

[illegible]　孤屋

[illegible]　荊口

[illegible]　斜嶺

[illegible]　小枝

[illegible]　[illegible]

[illegible]　其角

[illegible]　嵐[illegible]

[illegible]　大津 [illegible]月

[illegible]　大坂 [illegible]

[illegible]　祐甫

[illegible]　[illegible] [illegible]

[illegible]　利牛

[illegible]　仝

[illegible]　孤屋

[illegible]　野坡

食の時みるたつまるや　山桜　仝

上巳

[illegible]　佑徳
[illegible]　桃隣
[illegible]　其角
[illegible]　如行
[illegible]　馳恢
[illegible]　利牛
[illegible]　孤屋
[illegible]　芭蕉

題知らず

[illegible]　冬有

[illegible]　芭蕉
[illegible]　子珊
[illegible]　知注
[illegible]　猿雖
[illegible]　仙華
[illegible]　馳恢
[illegible]　馳恢
[illegible]　利牛
[illegible]　建常

桜の花梅のちりしを付る哉　可廻

花のさく木ハ朽てもうら麗かな　奥川

雨ほろく山へりしそりも花さかな　孤舟

申しく花のつよき降しかな　素洗

桜よ来るゝ花のちるさき当篤　浮楽

花や色嵐よりまた見る桜の枝　桜門

四方より花吹入て　にほのうミ　芭蕉

桜や仏ばしまで日もの花　北枝

かつ散りて仕まへとも花の残かな　其楽

海より花の色の花のかつちりて　宇路

ちる花ニ泥かへつて見えにけり　元之

夏部之発句

首夏

ほとゝぎす雲をまとて同じ衣之　嵐雪

衣人十里もへ花さかりて　野坡

旅寝せし旅寝せし衣更　九節

桜より衣やこそまた袷の衣　雪芝

花乃香けさよわりの花の香り　子珊

扇子の脇からまくし　あつさ之　利牛

卯の花

うの花や　くらき柳の及腰　芭蕉

卯の花の絶間たゝかん闇の門　去来

[illegible]

許六　支考

[illegible]

船主　素堂　芭蕉

[illegible]

桃隣　其角　嵐雪　杉風　芭蕉

[illegible]

利牛　北枝

[illegible]

荆口　千川　許六

[illegible]

利牛　北枝

浦風やはりつる縄のあれまく　岱水

端午

みつ〻舟や傘さし付る小舟形　其角
きく〻ゆるみてみやまうつしの風の色　大坂　洒堂
みつ〻まてみるまゝかぬるあやめ哉　桃隠
又もなく仕まうゝ粽入把　岚雪
こまのゆく貴の屏風の甲かな　仙花
惜まれて下ぬきぬる袷哉　素花

夏　猿

猿をみて町のはつれ小橋哉　臥高
橋ぬけ蛍見のつゝ見のまゝ　斜嶺
二三羽鶴ハ時雨もあれさ哉　青魯町

たゞ山吉力乃ゝ見あつさ小　猿蓑
猿の鳴や花ちるまゝに茅の月　芭蕉
時雨降甲乃の侵り

五月雨

きみ〻これやこゝの人数の北条殿　素花
みつ〻舟乃乃やよ〻川　大和川　桃隠
きゝこれわ小鮒をゆきうる舟乃　飛坡
みつ〻舟や志の茅の葉の菊蔭　岚蘭
とのゝ人郷借ゝ乃ゝ乃ゝ　岱水
みつ〻舟や見もまてゝもあ本　岱水

涼

川中出根本ゝとゝ人涼ゝ　芭蕉

月輪よりうつる夏の夜の空の
涼しさ探よりまうる竹の枝
行螢とまりてやすらふ流れ水
はらはらとちりて涼しき夏の夜
すゝしさをあまたの数の蛍かな
すゝしさや波間に月のうつるまで
夕すゝみ月のうつるまで
三日月の波もすゝむ夏の海

題しらず

橋や宮柔和乃あり
賢斗也石敢菜をまき給
世の中や年貢島のけしの花

女の夢　対七　探芝
留月　集　允峯
去来　敦政　素堂
杉風　正秀　里東

あるじ女ふたりとてしらる　菜畑ふ　芭雪

朱雪勝ふや

山吹も巴も出る田植うた　汗六
ひとり鳥や雨降りさへぬ花の木　智月
之助や人もすまぬ山家　北鯉
晩のわをきぬぎぬよ　乙州
雨乞の雨来たるかうもり　丈艸
蛍〻雨のうつや　あ　葵　仙花
一ひきれ旅もうつるは〻ま　楚舟
かるかる蝶ゝ蛍を来るれ　残香
猪乃牙ふりけるは　苔有
閑寂、竹町の　怒爪

けうこきく人勢の栖や宇多野　祐甫

一枝をすかすき竹のうゝ氏　仙花

竹のみや児の嵐くるのうゝ氏　嵐雪

さうこき人僕ら酒をうむるかく

戒やうの色を染せうむるかる

今ふきこぶくかてけうきはう

かうをあらかきうを染まあつせれ

けきは行をうきと

改て酒くをあらの　ぼくのつきうを　利牛

わくくの別墨ていきうをれあ春春春春春

キメつさ月のうゝ氏かうゝ

ひうをもねてあて見うやうゝ春　牧牧

秋之部

名月

名月や児ぶくも居の歩へきを　仙花

名くくを　桂元まの氏森の屋　去来

家雲ゝうくゝ風切る月歩名　荷兮

名くゝ和浮歩髪氏　森乃　地　洒堂

松陰や　鶴船　揚き　江乃月見　里東

あちゝの松ちひきをけくの月　利牛

家あちゝ生きを宝し　後の月　其角

ひきこの仲秋の月をわて見ける

望峯ゝ不盡乱度を

明くゝや名ゝ見ける　ゝ後の町　素龍

七夕

笹の葉に枕付てやわらぬ　其角
星合ふ夜の空を見ぬ　孤屋
七夕やうつうつうつる天の川　嵐雪

盂蘭盆

ちちはゝのかけろふ野やみぬ　西堂
踊りさかりまた酔ぬ　李由
おもかり月寂しく門をたたきけり　北枝

朔日

閑閑

朔日や蓮の葉ハ波おろしの風　芭蕉
わらはやり月傳ひ行く江　利合

秋色

年ふれば年もるを哉りくまも　智月
降りよ人のとまれやきりぎす　丈艸
蝙蝠の一人で帰るぬるぬる　有孤
ぬるぬるぬる蛍で近やる猫上　孤屋

歳

友来の時を見うつる小梅ル　車来
人のとまりよりて
来ろ来ル蛙や頃ろ郭公形　素枕
結ひのこき
手ハ洗やすりひ水ぬる麻の古　土芳

草花

宮雅所の春や夏の秋の花
桃隣　去来
花もさきちりもちりも村さとも
此寺の萩や川原の鶴の脚
猿雖　其角
芋の葉や白露殿の美ちろ
丈艸
おもてを洗ふそ
芋の葉のこぼれもつるる密の蔭
去来
山中の菖蒲を見て
菖蒲や巣の先なる舟ろく
其角
園菊
菓如おくれる責のくるり代
松風　桃隣
御菓もろこの国花　小白川
利牛　祐甫　木白　孤屋

秋雜物

横笛のうるおとをみるものの
落雷や八幡の社の鳩の甲
秋風や蔵の物ならぬ
笠ゆ手て空ともなく蜘の糸
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]草も見へ時〻[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
庭下乃三種之月の雲

冬之部

初冬

風や神よりさむき山のまれ　利合
雨の中や木枯さむき海さきの嵐　支考
冬籠乃砂よりあるとき[illegible]　北枝
[illegible]　依〻
蝋の果乃きれ行[illegible]の松原　其角

其角
桃隣
芭蕉
支梁
斜嶺

刈蕎麦の跡の[illegible]
風乃[illegible]
初[illegible]や　猫も　毛も　[illegible]
風や　踏ちらけき　[illegible]の雨

南宮山よりの作

木枯乃　根よりきろ付[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]の[illegible]

時雨

[illegible]
[illegible]
芭蕉[illegible]

相実
[illegible]
楚角
八桑

桃隣
[illegible]力

荊口
丈艸

斜嶺

在明となれば[illegible]

汗六

[illegible]

大根引

[illegible]

[illegible]

[illegible]

杉のとぼそ　宮城野の萩の露
朱の鞘や　流出つるしの宿の酒
[illegible]　[illegible]
案内の横町　[illegible]
海山の[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

支考
小枝
洋六
船久
乙州
素竹

題不知

[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

呂丸
芭蕉
洋六
智月
之道

[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　

[illegible]

李由　孤屋
智月　孤屋
猿蓑　孤屋
歌仙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孤面　其角

孤面　其角

孤面　其角

[illegible] 拾ひいつめて蜜点　桃隣

[illegible] 杜風　牡蛎

入月の蜜に[illegible]のうと寄りて　利牛

堀の外まで　桐の[illegible]　桃風

洲垂よりの[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

[illegible]の[illegible]　桃濃

近くの居[illegible]　牡蛎

年よりの[illegible]　利牛

いつよりさむく　十月の[illegible]　桃濃

[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

[illegible]　桃濃

[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

[illegible]　桃郎

[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

時なしに　金[illegible]　桃濃

[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

[illegible]　桃濃

[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

[illegible]　桃濃

[illegible]　牡蛎

[illegible]　利牛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

桃隣
[illegible]
利牛
桃隣
[illegible]
利牛
桃隣
[illegible]
利牛
桃隣
[illegible]
利牛
[illegible]

名
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]　利牛
[illegible]　北枝
[illegible]　芭蕉
[illegible]　利牛
[illegible]　孤屋
[illegible]　芭蕉
[illegible]　北枝
[illegible]　孤屋
[illegible]　利牛
[illegible]　北枝
[illegible]　芭蕉
[illegible]　利牛

[illegible]　孤屋
[illegible]　芭蕉
[illegible]　北枝
[illegible]　孤屋
[illegible]　利牛
[illegible]　北枝
[illegible]　芭蕉
[illegible]　利牛
[illegible]　孤屋
[illegible]　芭蕉
[illegible]　北枝
[illegible]　孤屋

梅雨降のちりをくらふ　まき風　利牛

雲乃雲初見ゆ山みれい物ぞし
日乃出るまへ乃あきを空
下岩を一ふ流よ水明て
あつさ　ゆ　孤岳
芭蕉
子珊
犯淺
利牛
盛水
如故
子珊

竹ふ後ふ鶴ふ切入了夏の朱
稲よ乃さ乃　雨のよ
まあ者乃一人も見ぬ浦の秋
ゆ乃さは風の　ゆ　金と
青くの月ゆ乃ゆ　籠夫工
背中へのりる　四を入りる
笠山ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ
川　ゆ　ゆ　小鮎　ゆ
杉ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ
背戸へ　ゆ　ゆ　小へ　行ゆ
物思ひ　ゆ　背　と　捜ゆ
先　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

石菜
杉風
井筒
利合
依く
桃淺
子珊
石菜
杉風
盛水
孤岳
芭蕉

隣番を務て後へ[illegible]
[illegible]
[illegible]

芳野

[illegible]　芭蕉
[illegible]　山店
[illegible]　去来
[illegible]　洞水
[illegible]　芭蕉
[illegible]　山店

三月晦

赤猫の[illegible]　山店
[illegible]　史邦
[illegible]　嵐竹

阿蘇野

[illegible]

元禄二年弥生　芭蕉翁記

花三十句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花三十句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

心苗　城人　井の　冬松　冬文　荷兮

芭蕉

全

季吟　素堂　為雪　城人　松下　李又　柳凡　嵐渓　岱稲　一髪　全

[illegible]

[illegible]十日[illegible]

[illegible]

[illegible]

名月や敵乃寄と犬の声　　仝下

名月や敵乃寄と犬の声　　二水

見るものとおもへて人の月見かな　　北あ

名月のひかりのきまり

ひろうしと月を見る月は家焼と

ひろうの月も　　蓮生子

名月や海もおもはぬ山もなし　　荷分

名月や　　仝

名月や　　仝来

名月やあとかたもなきまき　　胡及

名月はあるときもなきもなし　　沖方

宵に見し　　一髪

月の光　　杉風

新あさ敷ふぬ程見て月ぬれ　　荷分

朔日　　蓑のうへ月のもれもなし海の鏡

十三夜

二日　　見る人も有なき月の夕べ　　仝

三日　　ひかりのなくてやはり俤を三日の月　　芭蕉

四日　　夕月夜ひかりんけてあり〳〵むし　　卜枝

五日　　ひかりも見せうあるや宵の月　　一泉

六日　　根川見せうとやひかりの光り　　霍声

七日　　能なかるとあるて帰る月乗べ　　一髪

雪二十句

大雪ふりて

雪ふりの夜や船ばりの船ばりを　　其角

ひさかりむ雪見ぬ古人の詩を　　芭蕉

竹の雪　　麝交

ひさかりや雪ふる山の山の山　　京加生

車を雪をきあるけば
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

小春　城人
見幸
松芳
二水
鬼仙
除風
暁汀
千下
芳川
冬文
桂夕

[illegible]

荷兮
路通
秋色
芳川

歳旦

二月ふもぬろうへせるたの実
ゆれ人出るかるるし　たのもし
つるやゆ　千手代つくく　縄
雲ゆうり　伊勢の宿　笑人ハ海
うるる　連歌よりの　有
月雪雲ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　門の松
かさう　ゆ　ゆ　ゆ　年ゆる　極心

芭蕉
歌
古梵
風吟
其角
文鱗
太来
一晶

元朝や行くとなけれと歩きされふ　嶋通

元日や明きそめしるかすみ小　一笑

園内に梅の花むしの香ふ　如行

ふるう社老まハるぬるとれまま　草

ふるあるなるちるけて見よ雪の梅　岱作

伊勢浦やいはし一体ひ名の　飛何

あるふきの名をつけて見よ寒の梅　円

冬年のまちのさうし　竿沢

小栖子　葉やひろそむまの名　昌碧

ちり男　多枝楽を雪八けり　元廣

山茶花　うゝ男まる　竈の花　舟泉

松ちゝ　打ち侍る年ふる　仝

釣雪　重五

月花り　初を雪の　ゆ　仝

連そ　ま　て　ゆ　ま　ま　り　万　宗　楽　一井

う　う　ま　ち　ち　ち　祈　の　ち　ま　小　胡及

見　れ　ま　ま　ま　や　彩　ま　の　年　の　海　長虹

ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　嵐雄

ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　仝

逆　葉　や　舟　の　海　の　ひ　ん　ま　ま　滝水

佛　よ　う　祈　ま　う　ま　ま　ま　ま　ま　ま　とり

の　く　官　や　ら　ま　め　く　ら　ひ　ま　ん　朴什

ま　う　ま　と　な　ま　ま　ま　ま　ま　ま　冬文

正　月　の　奥　の　ま　う　ま　ま　ま　ま　仝下

人　新　の　春　家　ま　ま　ま　ま　ま　ま　冬松

[illegible]

柳風　防川　太祇　昌勝

大根は去年の春蒔の白物は
雪の故ぞ[illegible]年おとと
年よ山[illegible]かりより　又太祇

[illegible]

夕立　梅舌　北鳥

[illegible]

[illegible]

初やなうふくら　公

初夏や　深谷の松の今のまま　城人

[illegible]

[illegible]　公

[illegible]　荷芋

万歳[illegible]　公

己のもやもやけさの[illegible]

[illegible]

[illegible]　俊齊

[illegible]　負室

初春

[illegible]

[illegible]　城人

[illegible]　俊似

[illegible]　小春

[illegible]　[illegible]

[illegible]　元寮

[illegible]　[illegible]

[illegible]　城人

[illegible]

梅わて　わうう　つきまつも　聖人
[illegible]　[illegible]　[illegible]
みの月　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]の月　[illegible]
[illegible]の月　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]

義梧　芭蕉
一髪　若風
冬松　主乗
芙蓉　相
[illegible]　炎
[illegible]　市柳
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

椿　荷兮
仝　卜枝
蕎　湯水
仝　嵐雪

曉の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

吹風に牛ぬ[illegible]
吹風に[illegible]
風ふく[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

荷兮

山路にて

なつ草やもの思ふ葉の一ひら　芭蕉

[illegible]　井

[illegible]　越人

[illegible]　不交

[illegible]　嵐雪

[illegible]　雨川

[illegible]　竹川

[illegible]　蚊可

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さの　さの　名ハ　おもかげ　ハ　ハ　かつら　野水

仲夏

賀けの月ハ　笠ホ　ゝ　ゝ　ゝ

ゑ〻ゝ兩八今たるなき西ゑハ　亀洲

岐阜にて

おりゑゝさしさゝる粽縄ハ　貞室

同ゝ市ゝて

なりゑうてゝゝかのき粽典ハ　芭蕉

ちゝゝ

粽ハつゝみ箭ゝれて懐なり　荷兮

おゝゝく

岸ゝゝく鮎も呼ん粽酒　越人

先ゝゝれ出掛ゝゝハ粽典ハ　淳紀

曲ゝゝ川ハ冊ハ見ねうゝれゝ　梅舟

粽典ハ　路通

粽屋の郷を　ゝゝる夏ゝ

江の夜ゝゝ　中の粽ハ　卜枝

蘭の芳や　夜ゝゝ　宵の雨　釣可

粽よや　蟻後ゝ人ゝゝ　公

冷ゝゝや　灯のゝゝ　夜の雨ゝ　越人

夏の粽や　ゝゝ　厳蛙

庫ゝ市ゝに　四葉

ゝゝゝ人ゝ　梁夜の炭俵　其角

夕ゝゝや　粽ゝゝの孤ゝ　芭蕉

夕ゝゝの　ゝゝハ　人のゝゝ　北水

夕ゝハ　切ハ　ゝゝゝ　借雪

山路ゝゝ　夕ゝゝ　ゝゝの　市柳

名人百ちまで文ちかを似てをれし　長虹

暮夏

柿もぎてくやうなり　蟬のこえ　恒穂

夕立に干草なりく　恒穂

さゝしきに　梅もやゝぬ　木陰ぬ

涼しさよ　白鳥なりく　入日陰

簾して　涼や宿のまり口　昌碧

夏の際　こゝろみ　やこゝ　ひなり　今下

さき庭の　かゆ　あつ　ぬ　笠ぬ　玄蕃

杉の人　ぬ　人ぬ　笠　久　去来

ゑ乃　石　や　笠乃　ゆ　荷分

涼　や　樓の　ゆ　ゆ　秋水

如風

俊似

丘

桃　月　ぬ　ゆ　ゆ　涼　舟　卜枝

さゝしさ　ぬ　つ　れ　ぬ　ぬ　ぬ　末堂

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　秀正

蓮　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　晨風

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　丘蛇

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　芙水

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　長虹

蓮　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　俊似

引　立　て　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　文鳴

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　潦月

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　尚白

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　一髮

[illegible]や 幕をあるじ 様なる
麻のゝ[illegible] 昔[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]草 [illegible]
[illegible]乃花ゝ[illegible]ゝ 蘭ゝ[illegible]ゝ

ギト枝
李晨
越人
素堂

初秋

ちゝ[illegible]や 麻ゝ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]や [illegible]ゝ[illegible]ん 妹の[illegible]

越人
圓解

[illegible]雪[illegible]ゝ

一[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 杜[illegible]ゝ[illegible]
男ゝ[illegible]羽織を[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

仙花
方生
杏雨
芭蕉

[illegible]や 植かれ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

文鮮
荷子

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

[illegible]

芭蕉
其角
舟泉
芭蕉
作者知
貧
任口
荷兮
胡及
素堂
俊仙

[illegible]

芭蕉
小春
益音
今下
卜枝
一髪
泉
童五
其角
東頂
林谷
越水

宗和

北枝

越人

防川

舟笑

胡及

曉雕

其角

芭蕉

一笑

巴丈

昌碧

越人

曉雕

其角

仝

一水

秋

[illegible]

十閣　芦　加生　路通

初みぞれ

[illegible]

湖春

一茶亭にて三井寺うつし初めの

[illegible]

尚白　渦水

方句自初ふ

[illegible]

荷兮

[illegible]

落梧　飲玉　千下　荷兮　一髪　公　仝　李晨　野水　昌碧　仝　一井

[illegible]

落梧　胡及
文鱗　卜枝
泪雪　一髮
松芳　杏雨
英笠　蛇水
俊似

仲冬

[illegible]

勝吉　全治
林谷　李雨
宗之　杜国
勝吉　俊似
除風　夜舟

兼歌雪舟

[illegible]　嵐雪
[illegible]　荷兮
[illegible]　長虹
[illegible]　一井
[illegible]　[illegible]
[illegible]　舎岱
[illegible]　炭
[illegible]　忠知
[illegible]　亀洞
[illegible]　村淡

[illegible]　冬松

海嶺後の[illegible]　利重
炭窯の[illegible]　亀洞
[illegible]　[illegible]車
[illegible]　一笑
[illegible]　亀洞
[illegible]　芭蕉

歳暮

[illegible]　李下
[illegible]　尚白
[illegible]　肥水
[illegible]　亀洞
[illegible]　一髪

本実ハ尺見て歩る人のこゝろをこゝ
柿の実ひとつ枝にのこるまたのくれを
うゝまつにさまつのやせんとて
年乃　人目柿の実ひとつとゝ　荷兮
門出をうつして　陰一花のひ　内芳
田仏ハ　嵐遠ス　花乃寒さ哉　亀洞

雜　年中行事十二月内

いさけ哉とゝなゝめ哉ゝ　荷兮
月ハ　ゝ　ハ　ゝ　ゝ　ゝ

本覺院月見に来る人のこゝろをよめる

柿の実ひとつ残るを年乃くれを
うらやんでなるやせんとて

荷兮

年乃　人目柿の実ひとつ　内芳

門出をうつして　陰一茶のひ　亀洞

田仏ホ　嵐遠ホ　花乃寒さホ

雜　年中行事十二月内

いさけ　いさけ　ものとなるものゝ　浴光

日　ものゝ　ホ　鳥屋の　花乃つゆ　荷兮

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

春宵一刻値千金　梅白

[illegible]

花下停杯[illegible]

[illegible]入[illegible]

留春春不留春帰人寂寞

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寂寞閑村秋殘雁雪中風

[illegible]

白髮秋後佛名徑

佛名乃礼ハ優懐く白髮ハ

禪門乃拝ひのうとましき

きたくく[illegible]くて　舟家

鋸鋸　旦立　付木屋　鉋　縄　糊貫　馬糞掃

かけうふ乃ゝメ　日ハいとたつあるハ

ゑ月　閑ゑ窮たハ　ゑ一ゑ　ゑ家

ゆ[illegible]　酒ハ[illegible]ゑ　秋の　里

いき　青の　[illegible]　わけむ　[illegible]

ちゝ[illegible]しの　松ハ　[illegible]　[illegible]

[illegible]　越人

[illegible]の　抱つけ　[illegible]

[illegible]妃　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　昭陽人　小顕難度紫宸堂青鼠貶眉細

外人不見く度矣

[illegible]の　[illegible]　[illegible]

西施　宮中捨[illegible]　[illegible]　[illegible]

花なら　植ゑ　[illegible]　牡丹ゑ

王昭君　[illegible]　[illegible]

[illegible]の　[illegible]　[illegible]　御ハ

一[illegible]

[illegible]　雪

卯　蝶や蚊や山伏供養の数珠

辰　樹水　蛍生ん徒出乃　花の日数

巳　児竹　清秋の眠りを出ぬ扇かな

午　舍帖　あるひよ盛り上を踏ひとも

未　公　蟬乃まを武家乃文食とかな

申　ゆ〳〵悪や鶏とまる　それ仏

所ふのうて生ぬ人の是非の

歟　麻笛実　上ゑ歟ぼ〳〵ぬ実れ

擊　鴨突の行彩長き日向ふ

墨　投ぬ〳〵実ふ行留　蟬ぬ

蕎　杉のうと　鶏引ひ　蕎ふ月

川東　秋の〳〵ぬ稲川〳〵のひ〳〵ふ

牛馬四足是謂天　禍福首穿牛尾

是謂人

一炎　梅咲　桃の　保　ふ行　越入

藏舟於壑藏山於澤謂之固然而

夜半有力者負之而走

愚者不知也乃市人之所

欲望　棄知大盗乃止

ヒタ〳〵　物ひとをもなき　ー

ちくそ　跡　きの　ふ行ふ行

鶯乃　要ふ　て　ふ行

ちくき　時　賜　ちふ

ちく〳〵人の見ふ行　前ふ

鉢者天　桂夕

純者壽　市山

藤房　一井

師直　長虹

一休　いろいろ　はかなくちるや月の雲　湍水
遠浪　波の音ふけゆくまくらもなきさかな　荒浮
山岩　松の山ハ春を隠して　岩の角　湍水
海云　苔ふるし　弦まハ　なもなるけり　仝

名所

八重ゝ千ゝ　奥ゝて見さる　行四ハ
寄ゝ奥ゝ　宵や　武蔵の大江山　杜国
むら時雨　松ハ　春ゝ　緑　ゆ　荷ヶ
紫一把　ゝ　ゝて　春ゝ　ゝ　芭蕉
　　ゝ　ゝて　ハ見ゝ　あ　ゝ　ゝ　湍水
　　盛　荷ヶ

梁塵愚抄

　　　

夕月や杖ふみならす角田川　越人

九月十三夜

唐士に富士ゆゝしけふの月も星　素堂

明突の[illegible]ゆゝしさ月の田八　胡及

明突ハ貴賤乃ゆゝしのむまこゝ　淵支

武蔵やいく所ふもこる時雨　舟泉

漁を函根ゝ見せんむぶきくれ　尚白

かゝ時やらみゝのゝせて初ちゝれ　陌友

むさゝ世ゝこゝりゝゝゝ月あゝ　先悪

先ゝゝゝゝゝ生涌蒲ゝ楼ゝ小ゝ矣　後似

みゝゝれの猶轆轤やゝ乃ゝ　笑

要ゝ蓋ゝ世ゝ東ゝ小ゝゝゝゝゝゝ　備水

ゝの家ゝ遠ゝ東ゝ行ゝ夕　如行

里ゝ原ゝのゝゝゝ見ゝゝゝゝゝゝ　芭蕉

歩ゝゝの月ゝ丞彼の小家の蜘蛛　如行

旅

要ゝ蓋ゝ世ゝ東ゝ小ゝゝゝゝゝゝ　芭蕉

大和出要尾村出て

芋の海遠ゝ似ゝゝ蕨ゝ麻ゝ小　公

株笠里を眠ゝて通ゝ行ゝ　夕風

月の入ゝ舟ゝ見ゝて行　一髪

のゝゝゝゝゝ溪ゝ生ゝゝゝゝ　荷分

ひゝゝ猟ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　芭蕉

ゝの人の銭別ゝ

[illegible]

[illegible]

除風　冬松　昌碧　松芽　仝下

[illegible]

稲妻ふかしてつまつきの別なるなるもつて徒ふする　秋の鍵

秋風ふかねとうるとは　[illegible]

[illegible]

紀州　一井　世水　蒲深

[illegible]

月の[illegible]　[illegible]

[illegible]

世水　芭蕉　路通

[illegible]

[illegible]

[illegible]

草枕犬も丸くなる夜寒　芭蕉
旅すれば刀うるとや村雨れ　常秀
山深き芭蕉の葉ぬれて
いく落葉それから独もかなしき　荷分
夢ふ見し羽織八幡の八月　他水
甚角ふるる時
ひるさがりアにひるさがりこそ宿の
天然てさそれ多まえ　要丸　暮
かく虎のごふ見そ　ちろ丸
里人のうるうゆ　ちろ丸
城人と吉田の郡にて
雪ふれと二人旅寝さこのりき　芭蕉

旅歩して見や浮世の蜂蜂　全
述懐
家居を捨て出ては
きれる時八氷もさえてきるこ
とを成物の守りて男を歩ぶ
金石乃男去　蛙入る浮世小
さ野ふて
山武ふ仕ふ人ふ　独ける夏の院
きて下見てくれあるくる　元食
さ荘ふて
父母去ちきりふ来し　紅葉の変
ひや死さ彩さ人ふ　つの下小

路通　杜国
快宣　梅舌
落梧　芭蕉
荷分

さらふ入湯をのへくり一盞　　今
一本ハ　サクラヒもひのあり　行春ハ　杏雨
肩衣ハ　繻子ゆそひ　世もの　文　杉風
似たりや　白髮　よろく　麻布　亀羽

九月十日　赤坂の亭にて

おくれ家や　よもの中ハ　秋の菊　尚守
うつる家を　貪るきくの　恒根ハ　曉梧
人の　庵をとられて　さんとせ　芭蕉
四里の　人ハ　四つ　杜国

[illegible]

[illegible]　越人
[illegible]
一ハ　[illegible]
[illegible]　荷兮
[illegible]
[illegible]　嵐蘭
[illegible]　去来
[illegible]　西武
[illegible]　芭蕉
[illegible]　除風
[illegible]　越人

宴

春の日に出る人の事思ひ
きぬぎぬや余りくやしき時鳥　一有妻
はつ花山て庵の又ゝ明れば　除川
せり干の月ふる杭ふるゝ　長虹
宴ふる山神ゝそ見る女ゝ　文蘭
きけあし姉ゝ酒狂ひ荒ぶけ　冬文
　　心棘

宮殿黛を頭色
賈家ゝ稚妻消ぬる月の影　長虹
一やゝ人待ゝあるゝとゝゝな　尚白

さひしきわれ
世なれなりを家ゝゝ迎ゝ　持子

ゝゝ花ゝ帰ふ明ゝ五ゝ戸ゝ　小春
妻の名乃ゝ山ゝ人ゝ夏祭ゝ　越人
木ゝ中ゝ花ゝ旅ゝ人ゝ　俊仙
物ゝ影ゝ月ゝ陸ゝ明ゝ　舟泉
ゝゝ家ゝ山ゝ雲ゝ消ゝ　尚義
山畑ゝ人ゝ思ゝ　松芳
きぬゝを義ゝ見ゝ　冬松
ゝゝ家ゝ　昌碧

妻常
床ゝ形ゝ
なゝゝ花ゝを南ゝ無ゝ阿ゝ陀ゝ仏ゝ　守武
妻常迅速

[illegible]

[illegible]

南[illegible]空[illegible]

松坂の宿[illegible]人の母まう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

尚白

芭蕉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちる花のなかるゝ人もなきうらゝ　越人

女房の法師同行と覚えて出家されぬ
時き所あり　我佛の寂よりて
寺の比丘尼に暮るゝ春のしらるゝ

ふるゝと接る涙やあしの色　今
親まる尾上の桜咲よりも　俊成
古寺やつくきねうねの草年　井
八寶の
海士の家　釜しるしも　秋なし　千閑
咲よりけり　ふる人なる寺の　紅葉　一井
夏ふかや　水流るゝの　ひねる　蕪葉

大宗良ゆ

俳仏乃日ふ生れ変り人麻呂のふ仏
俳佛の手演　俳一　おくるきね　芭蕉
ゑ丹あそ　尚白

腰の笠ふき　徒ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　一雪
無ふ来て　庵　一日の　清ふ仏　カ　一笑
十如是

松のふるの　かなまを通ふ　ふ　荷ゑ
耶身所佛

夏陰の　ふ　庵八　ふ人の　佛ふ　愚益
ふ　ふ　ひや　俳の　俳ゑ　文　長　蘭洋
ふ　ふ　ふ　ひ　ふ　ふ　ふ　ふ　荷ゑ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　掇九

石竜の旅隠遁の相のうれし　文里

魂祭り舟より河をこぎ出るし　亀洞

たなばたのうらやましきあるじ哉　卜枝

梅侍の柱見さたん　雪の宿　沙雪

平等於一切

梅ばちのあるかの人さとられけり　俊似

稲妻に大仏　おろむ世中に　蕗丸

恒越に引摩覗くさきに成ル　卜枝

あるこの人間時の糸物うつしの寄

物を不食不図中なる感して赤も

厚さてうらに

厚うらに、仏に不ゆるへ　荷子

ある寺の奥ゆかし

敷ひ　乃手乃敷ゑうて　其角

すみ契坊を行るや月の舟　一井

秋乃ふの出ふをうる仕師ル　卜枝

人のもとにあるて出ふとうるふ

きさらくれるまで

夜ふるて又ふるうるうる　一時西　蕉雄

鎖金の安国論ちゆて

たうとさの涙や真ふれうん　越人

古寺の雪

曙や仏蓋くの　雪見　とし　若子

丙

雪ふりや　二王乃　行　梢

俊似

一井

文淵

其角

湖及

藥王品七句

如是我聞　如薩婆若海　如蓮華　如法華經　如月　如日輪　如來

神祇

雪ふりや　雪ふる　かゝる　柳　月

二月　六日　夜

雪

荷兮

仝

亀洞

昌碧

洛舎

城人

丹泉

雨柳

重五

[illegible]

玄寮　鈍可
李桃　好葉
玉寮　亀羽
未学　荷分
尚白　松芳
洛梧

[illegible]

[illegible]

利重　野水
昌碧　村俊
卜枝　冬文
重五　越人
千下　竜洞

千代の松原のあなたにかすかに見え
[illegible]
先祖へ梅を知の[illegible]
大井川[illegible]
[illegible]

芭蕉

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

芭蕉

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

左柳
里東
楚舟

曠野集貞享
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十代の昔の人のあとひかれて三年の月

先祖へ梅を知の命とする　芭蕉

大井川あるく作間拾氏の

ものとまりとまりて

さくられのそのかをを大井川　芭蕉

うれの山ふる

さくら　れや梅ホ本を移す事

有りあるあるふハたるを　左柳

春白ふ春の年もや　水月　両　里東

楚舟

曠野集貞享

[illegible]

佐川田喜右のよしにはなをあしとしるるおもをなしとこの

文まなびしたる所田とうとうとこれ此田尾張の人ハ此

作て芭蕉翁の作ハ作ハ作なるをしらるを聞しをしらハ

田舎人居むうつ七宝ホ山の武蔵ゆ[illegible]

ける人世中ホ虎の物ハ世ハ[illegible]ホ近きるる人ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

素堂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二ウ

[illegible]

水　人　分　水　人　分　水　人　分　水　人　分

大根きざみて　干み　いそがし

亀岡　分

遠浅や　海とちかき　[illegible]

[illegible]

百里の間　[illegible]

夕月の　雲の間をくぐる　[illegible]

[illegible]

一汐ふって　[illegible]

[illegible]

[illegible]

荷分　亀岡
昌碧　荷分
舟水　昌碧
舟泉
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人みな〻ふ眠るまくらもとに行あれ
つゆ〻ふ〻ふ〻ふ

[illegible]

舟泉
荷兮
冬文
舟泉
松芳
冬文
荷兮
松芳
舟泉
荷兮
冬文
舟泉

二月

[illegible]

松芳
冬文
荷兮

荷兮

舟水
仝
荷兮
仝
舟水
水
兮

三方の数ろうそくのふくらみ
竹まの葉鞘とゝ[illegible]
隠くや 小坂大系 咲霧の花
人おひよわ さるの 川ぞ

全
水
全
芋

月さしのいるけきハ星ハ暑もかうまる
おのもさふ 柄をさしいるよき間や
宗鑑 [illegible]乃 白をすゝ[illegible]ふ夜乃
秋乃 [illegible]
月ふ 柄をさしあらいよ[illegible]間ハ
蚊のわるくろう 夏の秋ハ蚊
ちくらを 浮ゝ[illegible]ゝてあるふん

城入
今下

おもひうけうき風あきのそら
真木 [illegible]
仮乃 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
大[illegible]の人よ [illegible]
月の [illegible] 海鮮 [illegible]
[illegible]
秋乃 [illegible]
[illegible]

全 人 今 芋 下 全 人 今 下 全 人 全

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芭蕉　月
仝　はつきりとあるかなしさ　はつ霜屋の
越人　はきたるれいろう　秋乃夕くれ
仝　駄単乃　大きさ　天たろう
芭蕉　風ふうるまて　降ら　市人
越人　なふあるさ　長安ハ是名利の地
芭蕉　医の　ゆきあそ　用ろうかれ
仝　いそうさ　師走の空ふ　立ち
越人　秋ろう　世ふ　ろ　寺の
芭蕉　山里ふ　ふきまる　ゆ
越人　旦　ぬ　雨の　ひ
芭蕉　きぬ　ゆ　ひ
越人　ゆ　ひ

芭蕉　月　ふ　ま　ひ　ふ　ま　ひ　ふ　ま　ひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

角　仝　人　仝　仝　角　仝　人　仝　仝　角　仝　人　仝

二十六

西王母　東方朔　月人　見沢
ゆ　鶴　鶴　の　吉のうしき
いちはやや　ゆ　ときあつ　賣
紫乃　鶴　も　寿　沢　うのま　ん
やわらぬ　雪　の　わらはれ　おや

角　仝　人　仝　仝　角　仝　人　仝　仝　角　仝　人　仝

二十七

矢ばくまん　師走　なろ　けろ
夕　鶴　富乃　長さ　ホ　板の　こ
ひつ　ひ乃　ゆ　を　ま　ひ　ん　後　力
定　の　ち　ホ　塵　ち　ち　ち　ひ　ま　ま　ひ
ひ　の　ろ　き　ろ　て　好　分　の　八　家
備　具　ホ　新　さ　ま　ろ　き　源　ま　ま
金　長　は　師　ん　秋　の　ひ　さ　ま
ク　ま　ん　ま　ま　ろ　ま　ま　ま　氏　の　ま　要
ち　ま　ひ　る　宝　ひ　け　の　ま　と
ろ　ま　ま　ホ　ち　金　の　は　寺　頃　の　ひ　て
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の
の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の
の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の　の

角　仝　人　仝　仝　角　仝　人　仝　仝

[illegible]

我もう新酒八人の醉をまた
秋うそ雪〜　山川も湯豚
月の宿　書成りもて来ねて
外一雲来の　寒さけか　約
[illegible]
[illegible]
門紙くまハ　城下のみち
疱瘡身の遠通らぬ黄の鬼
[illegible]
[illegible]
後ちよといふうそ[illegible]

岱雪　越人
仝　雪　仝　人　仝　雪　仝　越

[illegible]
行燈ともして　久人　浪人
[illegible]
明日　[illegible]
[illegible]
つまの医者　浪姿
[illegible]
[illegible]

人　岱雪　越人　雪　越人

初雪やあしのびる桐の木ハ　野水
月のみしきやみよ　初紀　落梧
山川や秋の峰あまりたよ人　仝

[illegible]　梧水
[illegible]　梧水
[illegible]　梧水

長虹
胡及
一井
嵐渓
胡及
長虹
嵐渓
一井
長虹
胡及
一井
嵐渓

二十六

二十七

胡及
長虹
嵐渓
一井
長虹
胡及
一井
嵐渓
長虹
胡及

元祿壬申冬許六亭奥行

昭和學園
短大
第6556號
受入
36. 3. 14